

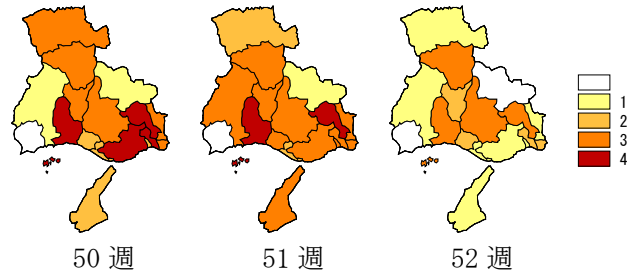
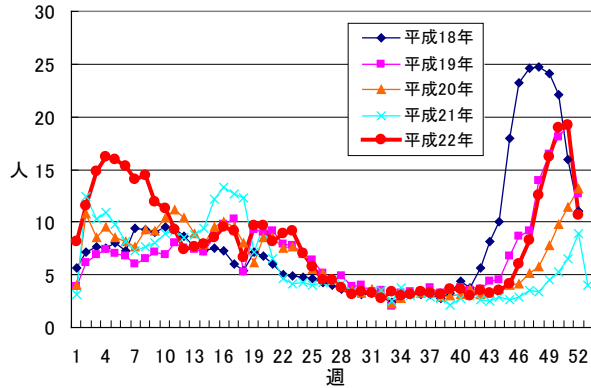
全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

### 定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

#### 感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **10.63人**(先週は19.26人)と大きく減少しましたが、これは年末年始の医療機関休診の影響などから例年見られる現象です。年明け後も流行は続くと考えられますので注意が必要です。この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。

感染性胃腸炎の定点あたり患者発生状況(県内)

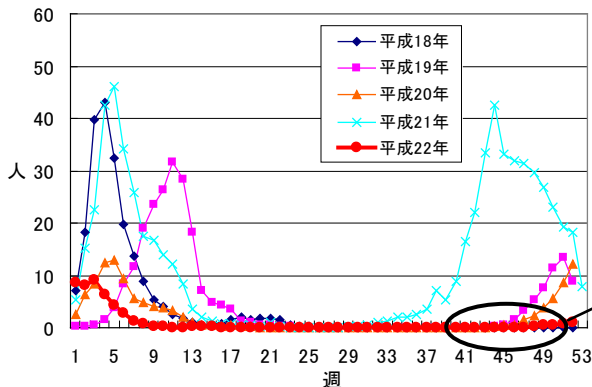


#### インフルエンザ

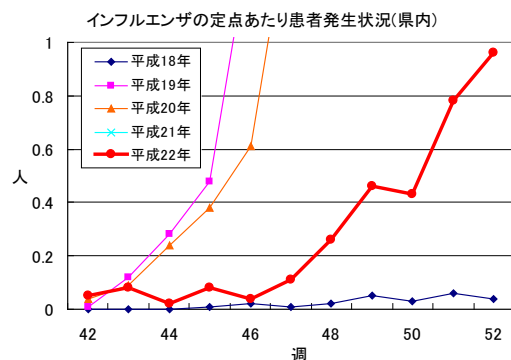
年末年始の医療機関休診の影響などからほとんどの疾病の患者報告数が減少するなか、インフルエンザの定点あたり患者数は今週 **0.96人**(先週は0.78人)と増加しました。全国の定点あたり患者数が2.30人となり、近畿でも滋賀県1.53人、京都府1.25人、大阪府1.01人と全国的な流行開始の指標である1.00を上回りはじめました。警報レベル(定点あたり30人以上)を超えている保健所管内があるのは北海道、注意報レベル(定点あたり10人以上)を超えている保健所管内があるのは、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県となっています(第51週)。インフルエンザの今後の動向にご注意ください。

全国で検出報告されたインフルエンザウイルスは、第49週以降新型インフルエンザ(AH1pdm)が急増し、A香港型(AH3亜型)の検出報告数を上回りました。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)



(拡大図)



定点あたり患者数の上位10位の疾病

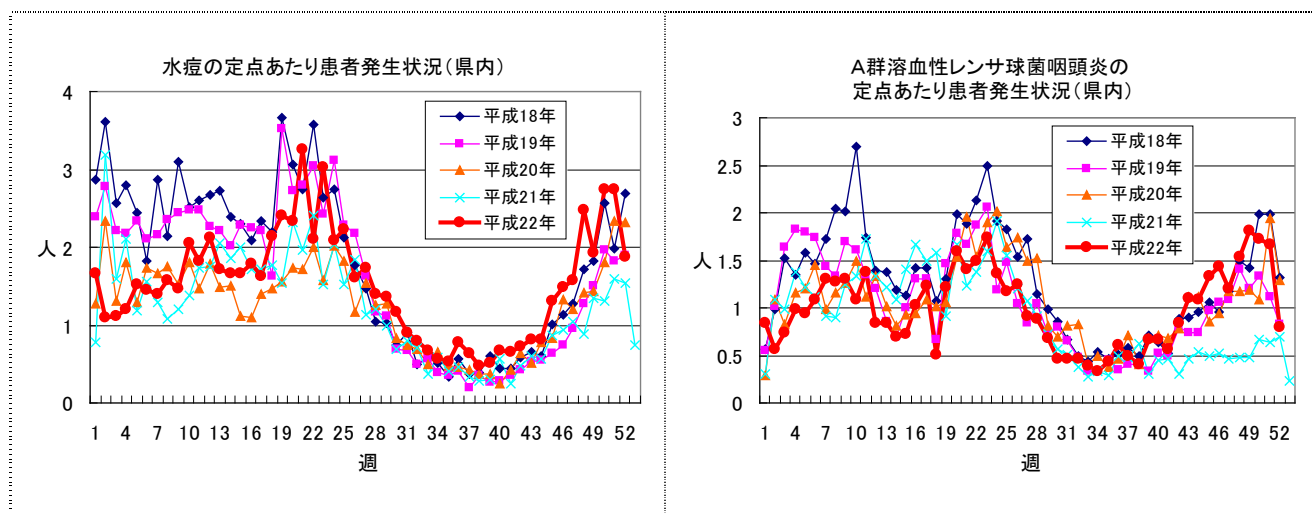
	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	10.63	19.26	-8.63	6位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.79	1.66	-0.87
2位	水痘	1.87	2.74	-0.87	7位	咽頭結膜熱	0.50	0.67	-0.17
3位	RSウイルス感染症	1.27	1.91	-0.64	8位	突発性発しん	0.32	0.37	-0.05
4位	流行性耳下腺炎	1.12	1.78	-0.66	9位	流行性角結膜炎	0.23	0.53	-0.30
5位	インフルエンザ	0.96	0.78	+0.18	10位	伝染性紅斑	0.22	0.43	-0.21

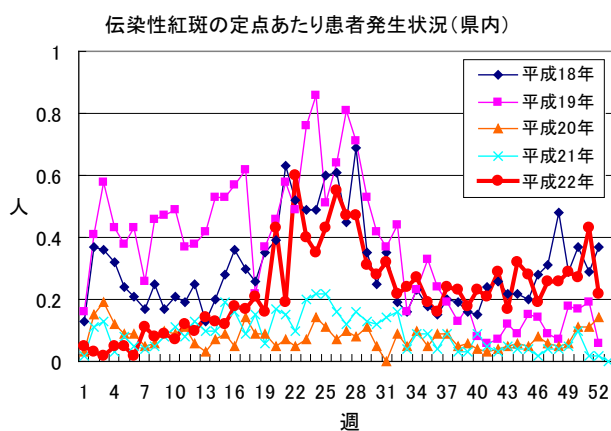
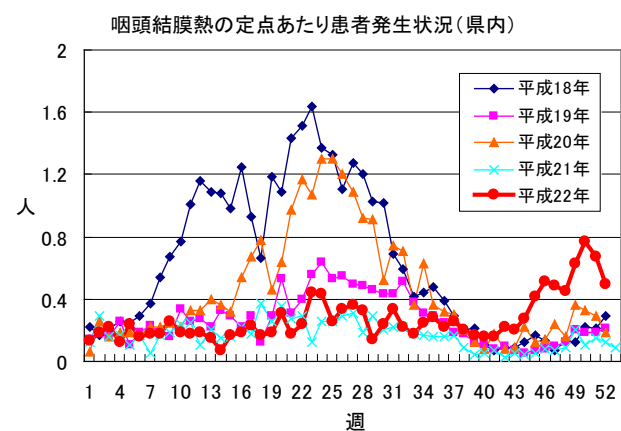
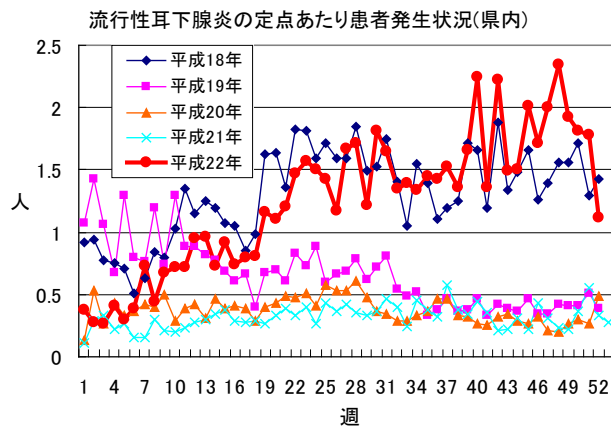
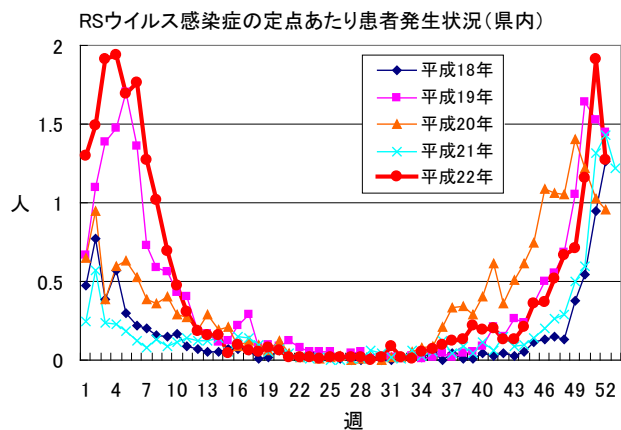
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	<b>結核 9名</b> （尼崎市3名、姫路市2名、西宮市1名、宝塚保健所管内1名、明石保健所管内1名、加古川保健所管内1名）
3類感染症	<b>腸管出血性大腸菌感染症 1名</b> （有症者0名） （洲本保健所管内；O26 VT1+ 女性30歳代 1名）（累積報告数188名；有症者127名、うちHUS2名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	<b>アメーバ赤痢 2名</b> （神戸市2名；男性40歳代 腸管アメーバ症 感染地域；国内、感染経路；性的接触、男性60歳代 腸管アメーバ症 感染地域；国内、感染経路；不明）
追加報告	<b>アメーバ赤痢 1名</b> （西宮市；男性20歳代 腸管アメーバ症 感染地域；国内、感染経路；不明）

目で見える動向（県内）

年末年始の医療機関休診の影響などから、ほとんどの疾病の患者報告数が減少しました。





この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。  
また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。